

| | | | | | |
|------|--------|---|-----------|------------|------------|
| 講義名 | 地誌学 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 藤原 喜美子 | | 開講期・曜日・時間 | 後期 金曜日 1時限 | |
| | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 1年生 | ナンバリング・コード |

主題と概要

テーマ：地誌から見た日本の地域性
この講義の目的は、日本の各地域にねざす地域性を読み取り、理解していくことにある。地誌は、各地域の自然、社会、文化などの特性を記述したものである。そこで、近世（江戸時代）の頃に記された地誌・紀行文などを題材に取り上げ、現在の様子と比較しながら、各地域の生活文化の特色を考察する。

到達目標

学生が、講義の内容を理解した上で、地誌（紀行文）に記された当時の生活の特色（地域性）に気づき、自らの言葉で一つ説明できるようにする。

提出課題

講義では、毎回、講義内容に関わる感想文などを記入し、小レポートとして提出してもらう。
小レポートのテーマは、講義ごとに伝える。
小レポートとは別に、講義に関連した指定のテーマについて、学期末レポートの提出を求める。
学期末レポート課題の詳細は別途、11月後半に、講義中の説明ならびにRYUKA portal「キャンパスクロス」の掲示を通して指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の講義に書いてもらう感想文の内容は、提出後に次の回の講義などで、日本の生活の特色（地域性）の事例として紹介する。

評価の基準

評価は、平常点（各回の感想文などを記した15回分の小レポート、60点）、学期末レポート（40点）を総合して行う。
評価の基準は、第1回の講義の時にシラバスの用紙を配布し、詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他

1. 【重要】この講義では、プリント資料として、主に「近世(江戸時代)に記された地誌(紀行文)」を使用する。現代の文章とは、かなり異なる表現や記述が多くみられるので、辞書を使用して言葉の意味を調べると、手書きや復習を各自でしっかりと行うこと。
2. 予習や復習で調べた内容や講義中に大事だと思う箇所は、メモをとること。
3. 講義中に私語をして、他の受講生の妨げにならないように注意すること。
4. 講義開始時間に着席しておくこと。
5. 15回の講義の出欠管理は、各自で行うこと。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

<プリント資料>
各自が、プリント資料を配布する。
プリント資料は無くさないように保存すること。
<参考文献>
講義中に適宜、紹介する。

授業計画

講義の進め方の詳細は、第1回の講義で説明する。

- 第1回 「地誌学とは」 地誌をどのようにとらえるか
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第2回 「青江真澄遊覧記から見た地誌」 青森の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第3回 「青江真澄遊覧記から見た地誌」 秋田の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第4回 「東遊雑記から見た地誌」 山形の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第5回 「東遊雑記から見た地誌」 岩手の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第6回 「奥の細道から見た地誌」 宮城の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第7回 「利根川図志から見た地誌」 利根川の利用と舟運
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第8回 「利根川図志から見た地誌」 利根川沿いの神社
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第9回 「利根川図志から見た地誌」 江戸の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第10回 「秋山記行から見た地誌」 長野の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第11回 「和州遊覧記から見た地誌」 奈良の神社
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第12回 「都名所図会から見た地誌」 京都の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第13回 「都名所図会から見た地誌」 京都の神社
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第14回 「播州名所遊覧図説から見た地誌」 兵庫の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第15回 「江漢西遊日記から見た地誌」 三重の生活
本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。
復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、全学共通科目の教養科目として、上記の主題と概要、到達目標の修得を通じて、本学のディプロマ・ポリシーのうち、特に次のような人材を育成することに貢献できる。
(2) 知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材
・課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収集力）
・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）
・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）
・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や取組みを明らかにした上で、具体化することができる（構想力）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この講義は、プリントを用いた講義の形式で進める。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。講義担当者は日本民俗学に関わる現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用し、地域の特性を紹介しながら授業を行う。

備考

《受講生へのメッセージ》
講義に使う資料は、「江戸時代（近世）を生きた人々の残した記録」である。江戸時代に目撃した事や考えた事など、当時の生活の様子を記録として残り、その当時の生活を知る貴重な資料として現在に伝えられている。資料からは、当時の人々の考え（声）を聞くことができる。現在との類似点や相違点がみられる。そこで、テーマごとに、現在の生活と比較しながら資料を讀んでもらいたい。この講義を通して、日頃から自分の周囲の景色をながめ、改めて周囲の事柄に意圖を持つきっかけにでもなりたいと思う。